

施工説明書

ヒーリング ステーション システム
Healing Station System

業務用

洗髪用

STALLION II A 壁付仕様

スタリオン II A

T904-00

目次

[1] 梱包品の確認	1-2 頁
[2] 各部の名称	2-3 頁
[3] 設置の前に	4-5 頁
[4] 使用条件	5 頁
[5] 設置スペースの確認	6 頁
[6] 施工時のシャンプーベッシンの取扱い方法	6 頁
[7] 設置	6-10 頁
[8] ストップバルブのご使用方法	11 頁
[9] ミキシングバルブのご使用方法	11 頁
[10] 通水テスト	11-12 頁
[11] シャワー圧力・シャワー流量の確認	12 頁
[12] ミキシングバルブの調整方法	12 頁
[13] ベッシンのコーキング(シーリング)処理	13 頁
[14] 設置が終わったら	13 頁
[15] 定格仕様・寸法	14 頁
[16] 工事完了後の点検項目	裏表紙



施工の前に必ず、この施工説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。

施工終了後、裏面の「工事完了後の点検項目」を記入して頂き、この施工説明書をサロン様にお渡しください。

この施工説明書は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

この施工説明書は、トラブルを未然に防止するために、注意事項が表示してあります。
全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。



注意

設置時にベッシンの本体カバーを持って移動しないでください。

本体カバー(樹脂部品)が破損する恐れがあります。

施工には付属品の逆止弁・ストレーナ付元バルブを必ず、取付けてください。

[1] 梱包明細

- ①シャンプーユニット本体
- ②バックハンガー
- ③バックハンガー固定用ビスφ6×65mm×8本
- ④ベッシン固定ボルト(M8ボルト・平ワッシャー・袋ナット各4個)
- ⑤シャワーホース
- ⑥逆止弁・ストレーナ付元バルブ(給水・給湯用)×2個
- ⑦排水栓本体 ASSY
- ⑧Pトラップ ASSY
- ⑨防臭キャップ
- ⑩エルボ (サーモバルブ接続用)×2個
- ⑪メッキ付エルボ (ストレーナ付元バルブ接続用)×2個
- ⑫両ニップル 30mm×2個
- ⑬ワン座 ×2個
- ⑭シャワー接続管 300mm(ミキシングバルブとストップバルブの接続用)
- ⑮バルブ接続管 200mm(ミキシングバルブと逆止弁・ストレーナ付元バルブ接続用)×2個
- ⑯エコキュート専用バルブ接続管 220mm(給湯器がエコキュートの場合に使用)
- ⑰13mmノンアスパッキン×4枚(他にエストラマー管付属の6枚)
- ⑱専用スパナ(23H×24H)
- ⑲排水栓締付け金具



①シャンプーユニット本体



②バックハンガー



③バックハンガー
固定用タッピングビス
φ6×65 8本



④ベッシン固定ボルト
(M8×18 ボルト・平
ワッシャー・袋ナット)



⑤シャワーホース



⑥逆止弁・ストレーナ付元バルブ
(給水・給湯用) 2 個



⑦排水栓本体 ASSY



⑧Pトラップ ASSY



⑨防臭キャップ



⑩エルボ 2 個
(ミキシングバルブ接続用)



⑪メッキ付エルボ 2 個
(逆止弁・ストレーナ付元バルブ接続用)



⑫両ニップル 30mm 2 個



⑬ワン座 2 個



⑭シャワー接続管 300mm
(ミキシングバルブとストップバルブ接続用)



⑯エコキュート専用
バルブ接続管 220mm
給湯器が**エコキュート**の場合は給
湯側のバルブ接続管は⑮のバルブ
接続管に替えて使用する



⑰13mm ノンアスパッキン 4 枚

⑮バルブ接続管 200mm 2 個
(ミキシングバルブと逆止弁・ストレーナ付元バルブ接続用)
給湯器が**エコキュート**の場合は給水側のみ使用



⑱専用スパナ(23H×24H)



⑲排水栓締付け金具

⑱専用スパナ及び⑲排水栓締付け金具は工事終了後
にサロン様に保守用工具として保管をお願いして下さい。

[2]各部の名称

本体正面



本体側面

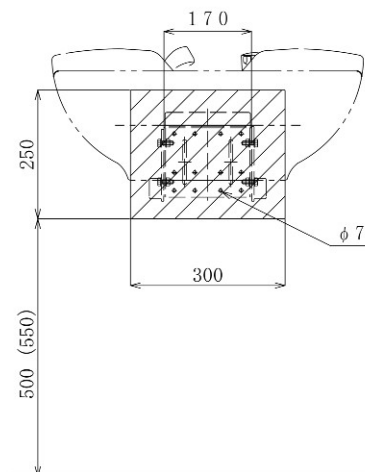
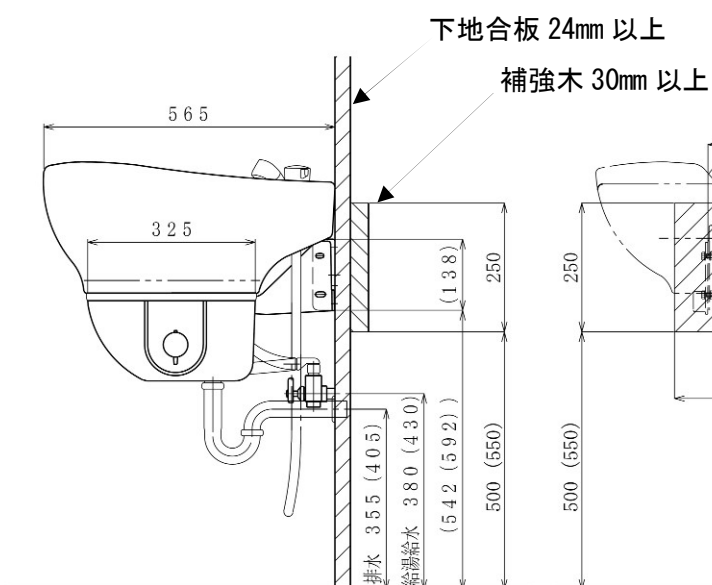
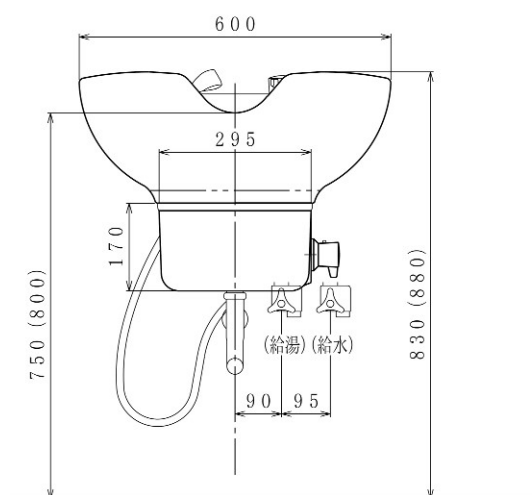


シャンプーベッシン



現場の確認と給排水位置図とシャンプーベッソンの取扱い方法

-
- 補強木 30mm 以上
- 下地合板 24mm 以上



Technical drawing showing the rear view of the bidet toilet unit. The drawing includes the following dimensions and connection points:

- Dimensions:**
 - Horizontal distance from the centerline to the left connection point: 90
 - Horizontal distance between the left and middle connection points: 95
 - Vertical distance from the base to the middle connection point: 355 (405)
 - Vertical distance from the base to the top connection point: 380 (430)
- Connection Points:**
 - 排水 (VU40):** Drainage connection point (top right).
 - 給湯 (PT 1/2 メス):** Hot water supply connection point (middle right).
 - 給水 (PT 1/2 メス):** Cold water supply connection point (bottom right).

配管施工について

配管施工については本書の内容を十分に理解した上で、正しい配管の施工をお願い致します。

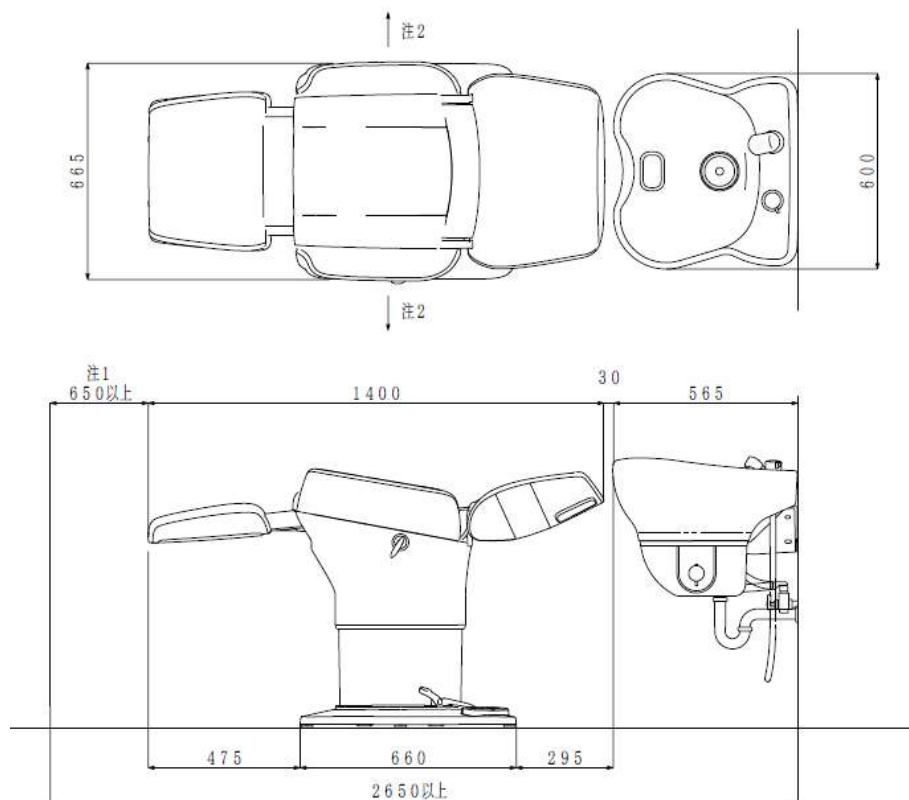
- 給水配管
市水道直圧の場合、市水道直圧以外(高架水槽等を介す)の場合、いずれもその地域の水道局指定工事店に依頼して、その地域の水道局施工基準等の法規に従って工事を行なってください。
- 給水配管は VP 管・HI 管・硬質塩化ビニルライニング鋼管等を使用してください。
(錆の発生する材料の使用は避けてください。)
- 給水管・給湯管の取り出し口は逆止弁・ストレーナ付元バルブの脱着に必要な取り付け強度を確保してください。
- 給水管・給湯管の逆止弁・ストレーナ付元バルブ接続部分は 13mm (1/2) 2 台以上を並列使用の場合、壁面内は 20mm (3/4) 以上の配管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。
- 排水管の接続部 VU40 2 台以上を並列使用の場合壁面内は VU50 以上の排水管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。
- 排水管には勾配を設けてください。
- 給水管・給湯管は同径にて施工してください。
- 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯配管は銅管を使用してください。
- 給湯器からの給湯配管は最短距離で接続してください。
- 水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。
破損や水漏れの原因となります。
- 配管接続後の通水テスト後に必ず、ストレーナ付逆止弁とシャワーヘッドの清掃をしてください。
- 通水検査を実施していますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

[4]使用条件

給水・給湯について

- 給水は上水道を使用してください。(井戸水等使用不可)
- 給水圧力が 0.75MPa を超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力に減圧してください。
 - ①最低必要圧力=0.1MPa(シャンプーユニットを数台並列配管して同時使用する場合にも1台あたりの水圧がシャンプーユニット接続部において動水圧 0.1MPa 以下にならないようにしてください。)
 - ②適正圧力=0.2~0.3MPa(シャンプーユニット 1 台あたり)
- シャワー流量が多い場合は、逆止弁・ストレーナ付元バルブで適度な流量に調節してください。
 - 参考値・・シャンプーユニット接続部での給水・給湯圧力が下記数値の場合の 40℃時シャワー流量
 - ①給水圧力=0.10MPa 給湯圧力=0.08MPa 時の 40℃シャワー流量は約 8.5ℓ/min です。
 - ②給水圧力=0.15MPa 給湯圧力=0.10MPa 時の 40℃シャワー流量は約 9.5ℓ/min です。
 - ③給水圧力=0.15MPa 給湯圧力=0.15MPa 時の 40℃シャワー流量は約 11ℓ/min です。
 - ④給水圧力=0.2MPa~0.3MPa 給湯圧力=0.2MPa 時の 40℃時シャワー流量は約 13ℓ/min です。
 - 給湯器設定温度=60℃ ミキシングバルブ設定温度=40℃ 水温 15℃時
- ※シャワー流量は設置条件(給湯器・配管距離・配管径等)により異なり、上記の数値は目安です。
- 給湯温度は、ご使用になる温度より 10℃程度高く設定してください。 ○推奨給湯温度=50℃~60℃
- 使用条件(使用台数)を加味し、適正な能力の給湯器をご選択ください。給湯器の給湯能力が不足しますと適正な吐水量及び吐水温度が得られない原因となります。 ○参考・・ガス瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16 号相当の給湯器 1 台でシャンプーユニット 1 台分の給湯能力になります。
- 給湯源に標準圧力型電気温水器をご選択の場合、給湯圧力が低く、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- 給湯器にエコキュート(ヒートポンプ式高圧力型)を使用する場合、設定温度を 65℃にしてください。
- 65℃以上の設置温度で使用すると、水栓金具の破損や漏水の原因となります。

[5] 設置スペースの確認



注 1 レッグレスト先端から壁面又は家具まで 650mm 以上 フットケアをされる場合は 1000mm 以上

注 2 600mm 以上 (通路を含む場合は 800mm 以上) ハンドケアをされる場合は 1000mm 以上

シャンプーチェアはリザーブ マルチチェア RS-002 の寸法図です。

[6] 施工時のシャンプーベッ신의取扱い方法

- 1、ベッ신을床に仮置きする場合は背面を下にしてください。

[写真 6 - 1 A]

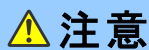
- 2、ベッ신을壁面に取り付ける時にベッ신의両側を持って取付けてください。[写真 6 - 2 A]



[写真 6 - 1 A]



[写真 6 - 2 A]



注意

設置時にベッ신의本体カバーを持って壁面に取り付けをしないでください。
本体カバー(樹脂部品)が破損します。

[7] 設置

- 1、逆止弁・ストレーナ付元バルブを取り付けます。[写真 7 - 1 A]

(給湯と給水の接続口は逆止弁・ストレーナ付元バルブの脱着に必要な取り付け強度を確保してください)



注意

純正品以外の逆止弁・ストレーナ付元バルブは絶対に使用しないでください。

シャンプーユニットに接続する前に必ず、ゴミ、砂、油等の配管内のくずを除去した後にエストラマー管を取付けてください。



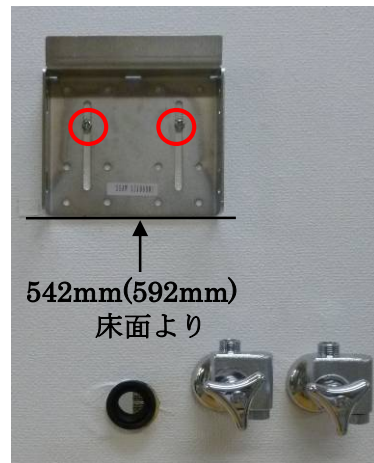
[写真 7 - 1 A]

2、バックハンガーを壁面に仮止めしてください。

- ①床からバックハンガーの下面が 542mm になる様に 2 本の
タッピングビスでバックハンガーを固定してください。[写真 7 - 2 A]
(ネック高さが 800mm の場合はバックハンガーの下面は 592mm です)
- ②ベッ신의仮止め時にベッ신의ステーで壁面に傷を付けない為に
バックハンガーの左右に養生テープ等を貼って作業をしてください。[写真 7 - 2 B]



[写真 7 - 2 B]



[写真 7 - 2 A]

- ③バックハンガーとベース板には製造番号を記入したラベルが貼って
あります。必ずこの番号を合せて取り付けてください。[写真 7 - 2 C]

⚠ 注意	ベッ신とバックハンガーの番号を合わせずに取り付けを されますとベッ신이傾いて取り付けたり、ベッ신이バック ハンガーに収まらずにベッ신이破損する恐れがあります。
-------------	--



[写真 7 - 2 C]

ベッ신と壁面との間には 1mm 程度のスキマがあります。

- 3、ベッ신을バックハンガーに取り付けてネック高さの確認をしてください。
ネック高さが所定の高さと異なる場合はバックハンガーの位置を調整
した後に 6 本のタッピングビスでバックハンガーを壁面に完全
固定してください。[写真 7 - 3 A] [写真 7 - 3 B]



[写真 7 - 3 A]

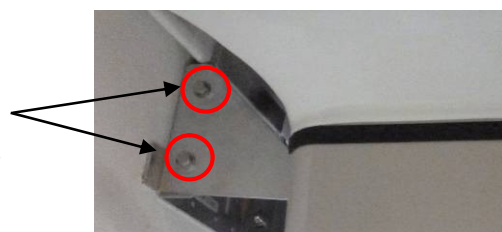
- 4、ベッ신을壁面に取り付けた後は直ちに 4 本のボルトでベッ신と
バックハンガーを固定してください。 [写真 7 - 4 A]

⚠ 注意	ベッ신は 4 本のボルトで壁面に固定される構造です。 ベッ신을ボルトで固定されずに作業を進めると、 ベッ신이破壊する恐れがあります。ご注意ください。
-------------	---



[写真 7 - 3 B]

ネック高さの確認後は直ちに
4 本のボルトでバックハンガー
にベッ신을固定してください。



[写真 7 - 4 A]

5、給水・給湯部品を取り付ける。

取り付けには付属の専用スパナ(23H×24H)を使用してください。[写真7-5A]

- ①給水・給湯の逆止弁・ストレーナ付元バルブにメッキ付エルボを仮締めの状態に取り付けてください。
 - ②ミキシングバルブの給水口と給湯口にエルボとバルブ接続管(200 mm)を仮締めの状態に取り付けてください。
 - ③給湯、給水のバルブ接続管を逆止弁・ストレーナ付元バルブのエルボに取り付けて、本締めをしてください。
(給湯水バルブ接続管の長さ調節はエルボの取り付け角度で行ってください) [写真7-5B]
- 給湯器がエコキュートの場合は給湯側はエコキュート専用バルブ接続管で接続してください。** [写真7-5C]
- ④ストップバルブとミキシングバルブの混合水出口側にシャワー接続管(300 mm)を取付けて本締めをしてください。



注意

本体カバーは樹脂製です。配管接続時に本体カバーに強い力を加えますと破損する場合があります。



専用スパナ

[写真7-5A]

6、シャワーホースを取り付ける。

- ①シャワーホースのナットを図の様にシャワーホースから外して、シャワーホースの矢印部分にシリコンスプレー等の潤滑剤をスプレーしてください。[写真7-6A]
(シャワーホース取り付け時にホースにねじれが生じない為にです)



[写真7-6A]

- ②シャワーホースは写真のストップバルブ本体に表示されている「シャワーホース」側に取り付けてください。
 [写真 7 - 6 B] [写真 7 - 6 C]
- ③シャワーホースはねじれが生じない様に取り付けてください。
 (壁面に対してシャワーホースの左右が平行になる様にしてください) [写真 7 - 6 C]



[写真 7 - 6 B]



[写真 7 - 6 C]

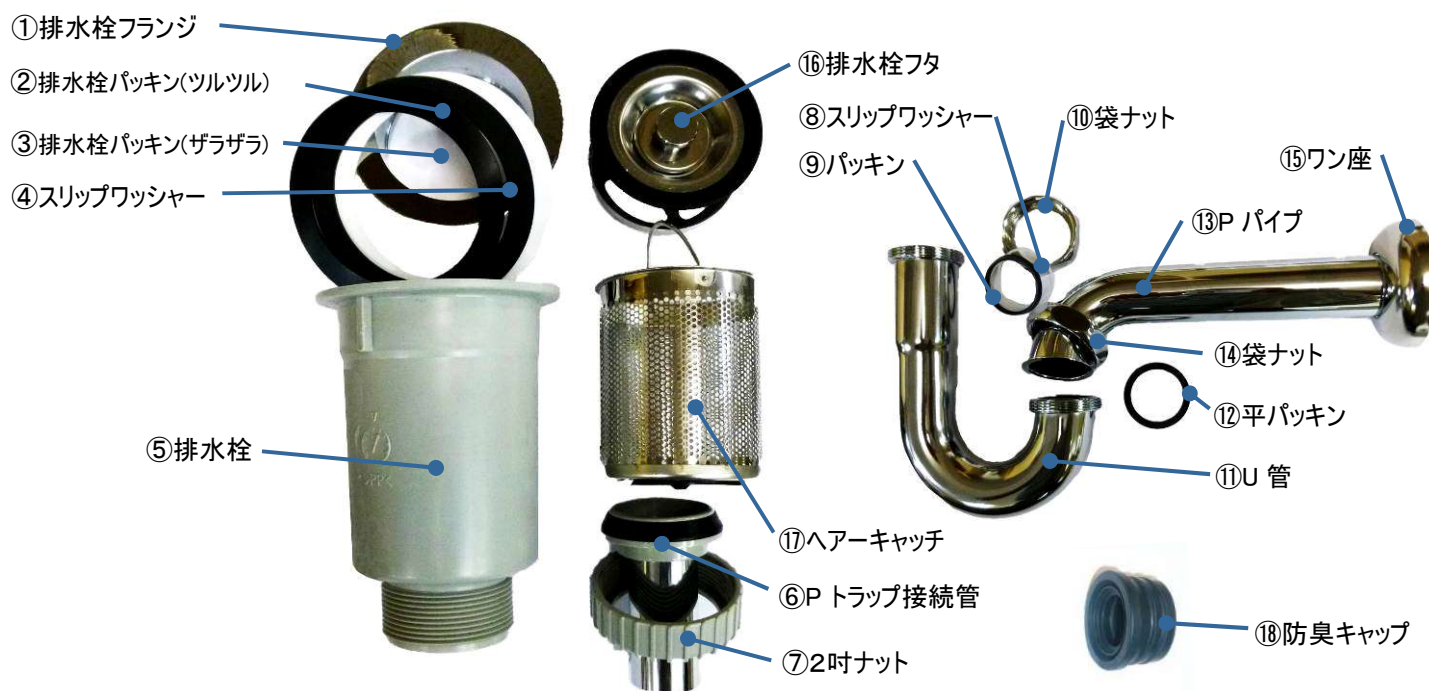


注意

シャワーホースにねじれが生じたまま取り付けると
 シャワーホースの出し入れがスムーズに行えません。

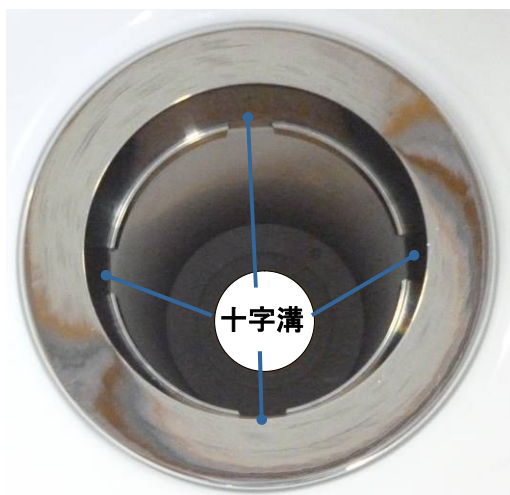
7、排水栓部品の詳細

- | | | | |
|----------------|------------|--------|----------|
| ①排水栓フランジ | ⑥P トラップ接続管 | ⑪U 管 | ⑬排水栓フタ |
| ②排水栓パッキン(ツルツル) | ⑦2吋ナット | ⑫平パッキン | ⑭ヘアーキャッチ |
| ③排水栓パッキン(ザラザラ) | ⑧スリップワッシャー | ⑬P パイプ | ⑮防臭キャップ |
| ④スリップワッシャー | ⑨パッキン | ⑭袋ナット | |
| ⑤排水栓 | ⑩袋ナット | ⑮ワン座 | |



8、排水栓を取り付ける。

- 1) ①排水栓フランジに②排水栓パッキン（ツルツル）を取り付ける
- 2) ⑤排水栓本体に③排水栓パッキン（ザラザラ）と④スリップワッシャーを載せて
①排水栓フランジの十字溝がベッシンに対して正面に来る様に⑤排水栓本体を手締めしてください。 [写真 7 - 8 A]
- 3) ⑤排水栓を排水栓締付け金具で本締めしてください。 [写真 7 - 8 B]
- 4) ⑰ヘアーキャッチを⑤排水栓の中に収納して、⑱排水栓フタを取り付けてください。



[写真 7 - 8 A]



排水栓締付け金具
[写真 7 - 8 B]

9、Pトラップ管を取り付ける。

- 1) ⑥Pトラップ接続管に⑩袋ナット⑧スリップワッシャー⑨パッキンを入れて⑪U管に挿入して
⑩袋ナットを軽く締めてください。
- 2) ⑬Pパイプに⑭袋ナットを入れて⑪U管の間に⑫平パッキンを入れて軽く締めてください。
- 3) ⑬Pパイプに⑮ワン座を入れて排水口に挿入してください。
- 4) ⑤排水栓に仮組みしたPトラップを取付けた後に各部を本締めしてください。
※シャワーホースはPトラップ接続管の上にくる様にしてください。 [写真 7 - 9 A]



[写真 7 - 9 A]

給湯器がエコキュートの場合は
給湯側には保温材付フレキ管を接続

[8] ストップバルブのご使用方法

- ストップバルブのハンドルを反時計回りに回すとシャワー口から吐水します。[写真8-A]
反時計回りへいっぱい回すと吐水量が最大になります。
- シャワーを止める時はストップバルブを時計回りにいっぱい回してください。[写真8-B]



[写真8-A]
止水時のストップバルブ位置



[写真8-B]
シャワー吐水時のストップバルブ位置

[9] ミキシングバルブのご使用方法

- ミキシングバルブを左に回すとシャワー温度が高くなり、右に回すとシャワー温度が低くなります。
- ミキシングバルブを回して安全ボタンをお望みのダイヤル位置に合わせてください。
(ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください)
- ミキシングバルブには誤って熱湯を出さない様に安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは 42℃ 近辺の目盛りでロックされますので、42℃ 以上のシャワーを出すときは、安全ボタンを押しながらミキシングバルブを左に回してください。[写真9-A]

安全ボタン



[写真9-A]

[10] 通水テスト

1、通水して各部の水漏れをチェックしてください。



注意

輸送中に接続部が緩んで、水漏れする場合があります。シャンプーユニットの接続部分すべての水漏れチェックをしてください。



[写真10-2A]

逆止弁・ストレーナ付元バルブ



[写真10-2B]

ストレーナ付逆止弁

2、通水後シャワーににごりがなくなった後、ストレーナ付逆止弁及び

シャワーヘッドの内部を清掃して下さい。[写真10-2A] [写真10-2B]

- ① 逆止弁・ストレーナ付元バルブ(給水・給湯)を閉じます。(ハンドルを右に回します。)
- ② ストレーナ付逆止弁のキャップを左に回してストレーナ付逆止弁を取り出します。

- ③ストレーナ付逆止弁を清掃し、逆止弁・ストレーナ付元バルブ内部のゴミを除去します。
 - ④逆止弁・ストレーナ付元バルブ内部を清掃後、ストレーナ付逆止弁を本体に戻します。
 - ⑤逆止弁・ストレーナ付元バルブ(給水・給湯)を開き、シャワーを出してください。
 - ⑥シャワーヘッドを外してシャワーヘッド内部をシャワーで洗い流してください。
- 3、給湯、給水圧力は同圧又は一定であるか、チェックしてください。
- 4、給水・給湯の圧力バランスが悪い時は逆止弁・ストレーナ元バルブで流量を調節してください。
- 5、温度調節は正常にあるか、チェックしてください。

[11]シャワー圧力・シャワー流量の確認

- シャワー流量を確認してください。
- シャワー流量が 12ℓ/min を超える場合は逆止弁・ストレーナ元バルブにて給水・給湯の流量を調節してください。

[12]ミキシングバルブの調整方法

- ミキシングバルブがダイヤル通りのお湯が出ることを確認してください。
- 取付け現場の給湯器の種類、給水・給湯の圧力差等の状況によってはダイヤル通りのシャワー温度にならない場合があります。
この場合は以下の手順で、ミキシングバルブの調整をして下さい。

40℃シャワー時にミキシングバルブ位置が、右図のように安全ボタンが 40℃の位置にこない場合にミキシングハンドルを位置を変更します。

[写真 11-A] [写真 11-B]



[写真 11-A]



[写真 11-B]

①40℃のシャワー温度がでる位置にミキシングバルブを回す。

②この位置でミキシングバルブを引っ張り、取り外します。

[写真 11-C]



[写真 11-C]
ミキシングバルブを
取外した状態

③安全ボタンが 40℃の位置に来る様にミキシングバルブハンドルをはめ直します。

[写真 11-D]



[写真 11-D]
40℃の位置に安全
ロックボタンが、中
央(上部)にくるよう
にミキシングバルブ
をはめ直します。

[13] ベッシンのコーキング(シーリング)処理

ベッシンと壁面の隙間にコーキング処理をしてください。

①ベッシンと壁面の汚れを取り除いてください。

[写真 12-A]

②ベッシンと壁面にマスキングテープを貼ってください。

[写真 12-B]

③シーリング材をベッシンと壁面の隙間に充填してください。

[写真 12-C]

④はみ出したシーリング材は速やかに除去してください。

[写真 12-D]

⑤マスキングテープを除去してください。 [写真 12-E]

※シーリング材はシリコン系のクリア色をお勧めします。

以上で工事の完了です。



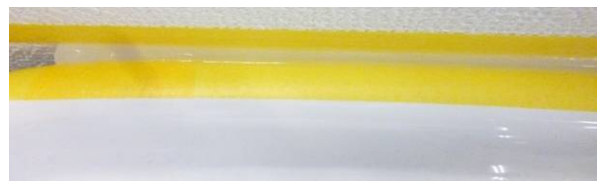
[写真 12-A]



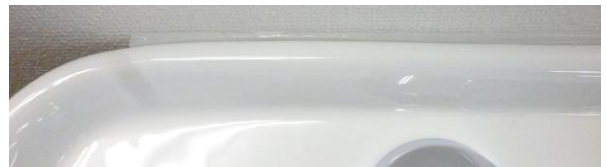
[写真 12-B]



[写真 12-C]



[写真 12-D]



[写真 12-E]

⚠ 注意

ベッシンと壁面の隙間にコーキング処理を行わないと、シャンプー時のシャワー水でバックハンガー等のメッキ部分の腐食原因になります。

[14] 設置が終わったら

以下の項目を点検してください。

①シャンプーユニットと壁面にガタつきは無いか。

②各部の水漏れ再検査。

(ストップバルブ・ミキシングバルブ・給水・給湯の各接続部及び排水栓・Pトラッ

工事終了後、本書及び取扱説明書、専用スパナ、排水栓締付け金具はサロン様にお渡しください。

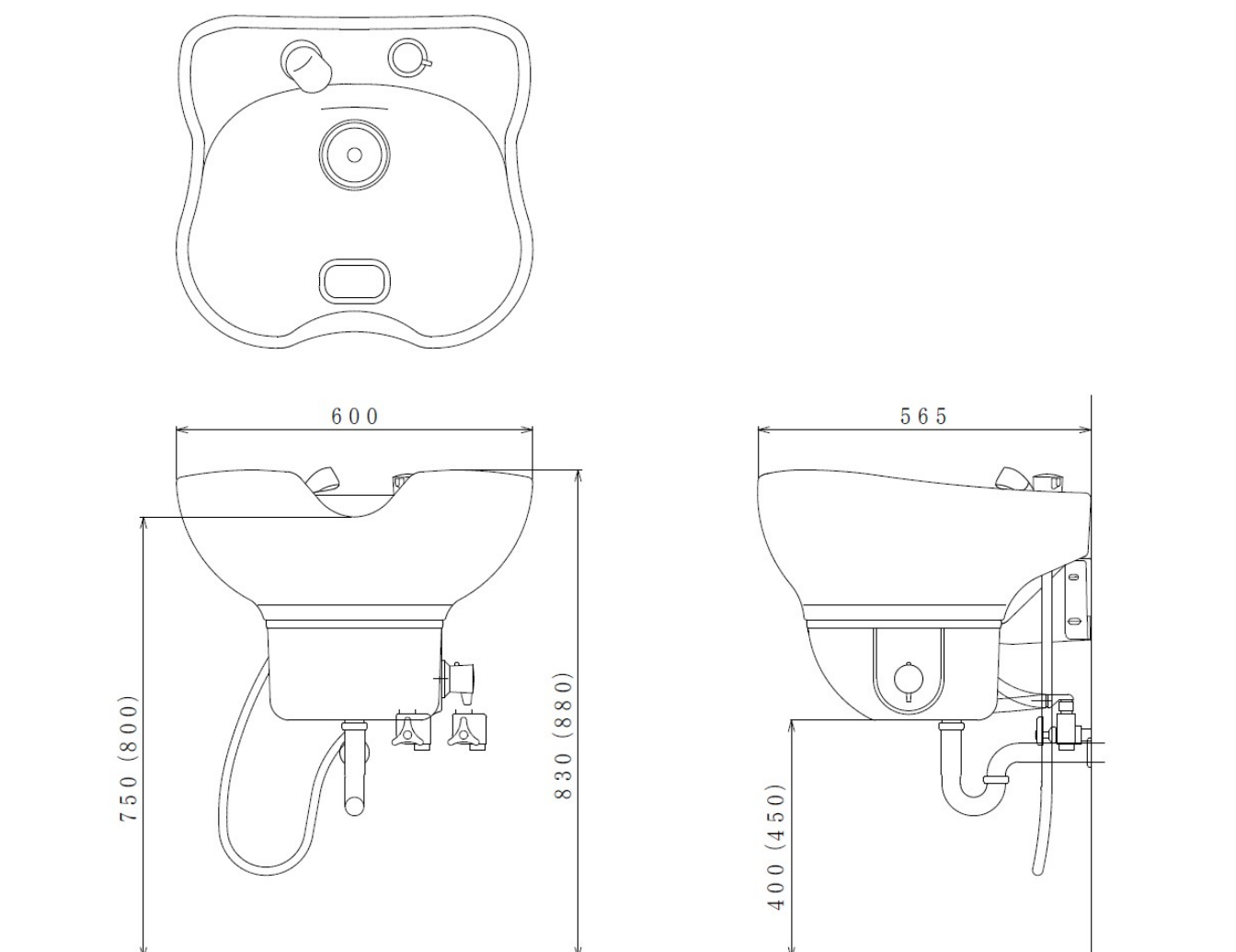
[15] 定格仕様・寸法

● 定格仕様

	スタリオン
商 品 名	:STALLION II A 壁付仕様
型 式 番 号	:T904-00
外 形 寸 法	:幅 600 mm×奥行 557 mm×高さ 430 mm
重 量	:約 28Kg
温 度 制 御	:サーモキシングバルブ(形状記憶合金方式)

● 寸法

ネック高さ 750mm の場合 ()はネック高さ 800 mmの寸法



[16]工事完了後の点検項目(施工工事店様記入箇所)

●施工完了証

本製品の施工に伴い以下を確認致しました(点検項目「□」に「レ」を入れてください)		
施工完了日: 年 月 日		
工事店様	ご住所	〒 □□□-□□□□ TEL: - -
	店名	担当: _____

●点検項目 (「□」に「レ」を入れてください)

- ☐ シャンプーベッシンはバックハンガーに4本のボルトで固定されている事。
- ☐ 給水・給湯の逆止弁・ストレーナ付元バルブは純正品が取付けられている事。
- ☐ 給湯器がエコキュートの場合、給湯側には付属の保温材付フレキ管が接続されている事
- ☐ 給湯器がエコキュートの場合、エコキュートの設定温度が 65℃(低温側)に設定されている事
- ☐ 給水・給湯管～ミキシングバルブ接続部に水漏れの無い事。
- ☐ ストップバルブ接続部及びシャワーホース、ミキシングバルブ接続部に水漏れの無い事。
- ☐ 封水トラップ取付け部～Pトラップの接続部に水漏れの無い事。
- ☐ シャンプーベッシン(陶器)にヒビ・欠けの無い事。又、シャーシー(本体)に傷・ヘコミ等が無い事。

●サロン様へ

漏水によるトラブルに際しましては、上記工事店様への相談にあわせ下記、最寄りの営業所へご連絡下さいます様、お願い申し上げます。

●販売元

滝川株式会社

<http://www.takigawa.co.jp>

本 社

〒111-8511 東京都台東区元浅草 3-2-1

TEL:03-3845-2111 FAX:03-3845-0123

大阪営業所

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4-2-4 日本生命御堂筋ビル 3F

TEL:06-6243-1260 FAX:06-6243-1261

名古屋営業所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 4-14-31 栄オークリッジビル 8 階

TEL:052-857-1177 FAX:052-857-1188

札幌営業所

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 3-11 北洋ビル 2F

TEL:011-208-3355 FAX:011-219-0330

福岡営業所

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-4-4 東京建物博多ビル 1 階

TEL:092-432-4321 FAX:092-432-4324

●製造元

株式会社サンスターステンレス

2025.06.03 発行